



# 実 施 報 告 書

件名（事業名）	講演会「情報と防災～発信者、メディアの立場で考える～」
実施年月日	令和2年2月26日（水曜日）
実施場所 （会場）	（会場名）ANAクラウンプラザホテル米子 （所在地）鳥取県米子市久米町53-2
主催者	鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会
協賛者	なし
後援者	中国情報通信懇談会、鳥取県、一般財団法人全国地域情報化推進協会
実施内容 （参加人員）	<p>講演会には、鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会会員をはじめ、鳥取県内の自治体の防災担当者、防災関連企業、放送局、一般企業、個人の方63名の申込みがあり、57名が聴講されました。</p> <p>講演では、平常時、災害時、復旧・復興期にどのような状況における情報の伝え方、その重要性についてお話をしました。</p> <p>佐用町の事例では、夜間の避難中に被災して亡くなった方もおり、避難情報の伝え方と判断の重要性を訴えられました。</p> <p>逆に平成25年の伊豆大島の事例では、避難指示を出せなかったことへの後悔と東日本地震では、津波から住民を避難させるためにどのように切迫した状況を伝えるかという課題を提示されました。</p> <p>防災情報伝達については、気象情報の精度向上、防災情報モニタリングシステム、SNSを通じた情報収集、カーナビの情報通知、Lアラート、臨時災害放送局など様々な取り組みにより課題解決が図られていることを紹介されました。</p> <p>最後に、物語「稲むらの火」で、家を燃やして住民に津波の襲来を知らせたという「防災情報伝達」の原点のような逸話に、実は、昔ほどの共同社会にも災害や緊急時の相互扶助の考えが浸透していたという「防災意識や共助の重要性」を訴えて講演を結ばれました。</p>
備考	<p>鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会  <a href="http://www.tottorikenmin-ch.com/">http://www.tottorikenmin-ch.com/</a></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

# 別紙 講演会の様子

